

NEWS LETTER

この度、桜美林大学駅伝部ではニュースレターの配信を開始いたします！
「ただ過ぎていくはずだった時間を、ニュースレターで“残る時間”に」
をコンセプトに、チームの発信を行っていきます。

日々の積み重ねや選手一人ひとりの想いなど普段は見えにくいチームの内側をお届けしていきます。
このニュースレターを通して、少しでもチームを身近に感じていただけたら嬉しいです！
なお、本ニュースレターは5月28日より本格始動し今後は毎月配信予定となります

26年度チームスローガン 選ばれるのではなく勝ち取る

26年度チームスローガンが、グループワークやミーティングを重ね、決定いたしました。

まずは「予選会10位以内を目指すうえで必要な要素」をテーマに意見を出し合ったところ、主体性・継続・体調管理など、「個人として徹底すべき当たり前」が多く挙げられました。

より議論を深め、チームの在り方について改めて考えました。

本チームはA・B・Cチームに分かれて活動しており、その中で見えてきた最大の課題は「競争心」でした。

Aチームに頼る空気が生まれてしまうことや、B・CチームがAのチームを脅かす存在になりきれていないこと、ポジションを勝ち取る意識が十分ではないことなどが挙げられたのです。

予選会を突破するためには、一部の選手だけでなく、チーム全体での競争による底上げが不可欠です。
仲間であると同時にライバルでもある存在として、互いに競い合い、引き上げ合えるチームこそ対外的な勝負で戦えるチームになるのです。

これらの経緯から26年度のチームスローガンは、

「競争」～ 予選会10位・Aチーム12人を勝ち取れ ～

に決定しました。

予選会を走れるのは、たった12人です。
「選ばれる」のではなく、自らその枠を勝ち取る存在になること。
一人ひとりの競争がチーム全体の力を引き上げ、目標達成につながると考えています。
このスローガンは、誰かを追い落とすためのものではなく、全員で限界を引き上げ合うためのものです。

部内の競争を力に変え、チーム一丸となって箱根駅伝初出場を目指します！

応援メーター

応援者200人まで

今年度、私たちは「応援」に今まで以上の力を入れたいと考えています。

箱根駅伝予選会では、最大12人の選手がハーフマラソン（21.0975km）を走り、上位10人の合計タイム（総距離210.975km）で本戦への切符を争います。
この「21.0975km」という果てしない道のりを、選手と応援団、そして支えてくださる皆様全員で共に戦い抜きたいと考えています！

そこで、『200人の絆でつなぐ、箱根へのロード』として、応援してくださる方の数を距離に見立てた取り組みを行います。

2026年度予選会で目指すのは、【200人の熱い応援】です！

最初の200kmは、皆様ひとりひとりの応援（1人＝1km）が、選手たちの走る一步一步を支える力となります。
そして、残りの10.975kmは、皆様からもらったパワーを胸に、選手たちが最後の力を振り絞ってゴールへと駆ける「勝負のスパート」です！

- 現在の応援距離：0 km / 200 km
- 目標の200人まであと：200 人

「応援者1人＝1kmの追い風」200人の応援が集まったとき、私たちの箱根への路がはっきりと見えてきます。

箱根への一步を、皆様とともに。ぜひ皆様の応援を力に変えて、共に本戦への切符を掴み取りましょう！！

0/200 km

残り200km

